

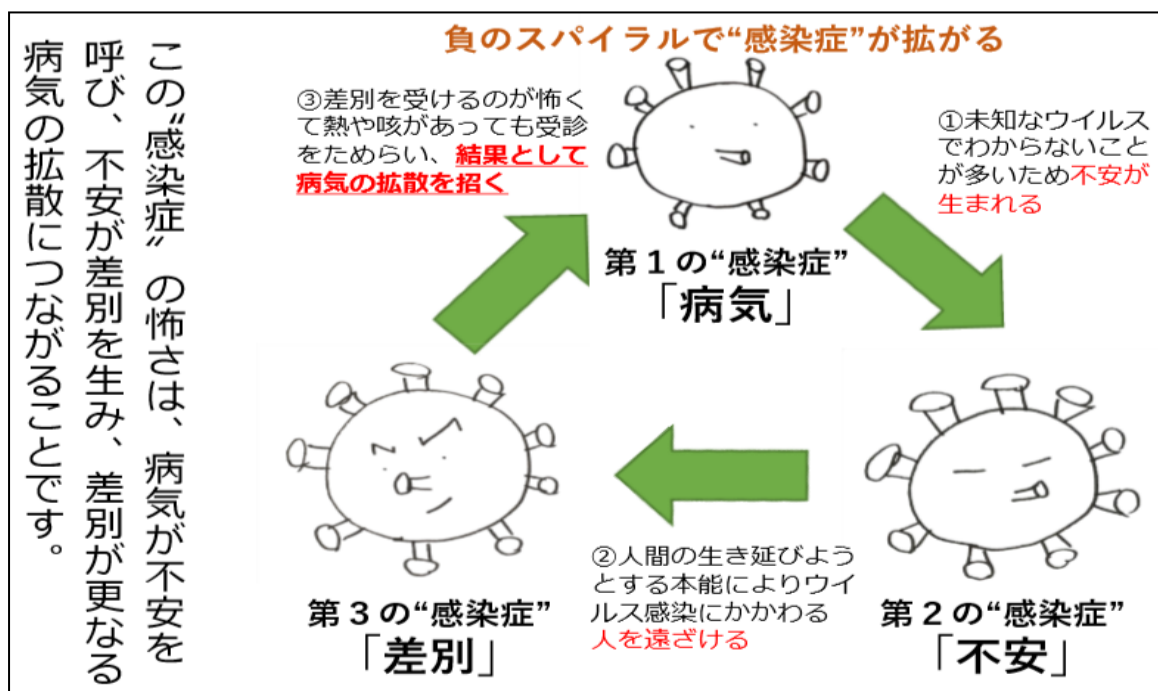
新型コロナウイルスに関わる差別や偏見の解消について

連日、四日市市内でコロナ感染の報告があります。先日は本校でも感染拡大の恐れがあったことから2日間臨時休校とし、特に感染の恐れがある学校関係者が検査を受け、幸い校内での感染拡大はなかったことがわかりました。

今後もいつ誰が感染するかわからない状況が続くと思われまます。引き続き、学校では感染拡大を防止するための手段を講じながら教育活動を行っていきたいと思います。

また、本校の生徒やご家族が感染されたときでも、そのことで差別や偏見が起こらないようにする必要があります。そこで先日から道徳などでこのことを扱った授業を行っています。授業内容は学級・学年によって異なりますが、たとえば次のような内容の授業がありました。

授業①『新型コロナウイルスの3つ顔を知ろう。』



授業②『どんなクラスなら安心？ ～安心宣言をつくろう～』

もし、自分が感染者となって治療を終えて登校したとき、クラスみんなにどのように関わってもらったら安心できるかを考えました。

考えたことを発表し合い、クラスの誰かが感染しても、いじめや差別の心配をせず安心して過ごせるよう、クラスの「安心宣言」をつくりました。

【裏面もご覧ください】

授業③『もしこんなことになったら』

「演奏会のためにずっと頑張ってきたのに、感染した人が出たから、臨時休校になって演奏会に参加できなくなった…」「感染した人を責めるのはいけないと、頭ではわかっているんだけど…」
こんなとき自分ならどう考えるか……。

【授業③を終えた生徒の感想】

- ・自分が感染しないようにすることと、その人を恨んだり責めることのないようにしたい。
- ・気持ちを落ち着かせて、次の目標や今やらなければならないことを頑張りたい。
- ・やってきたことは無駄じゃないと思う。誰かを悪者にする必要はないと思いました。

先日の臨時休校中、生徒たちがSNSなどで「誰が陽性者なのか？」などの噂話をしていたと聞きました。しかし、一方では、「そういう噂話はやめようよ」という生徒もいると聞いており、他者を思いやる心が広がっていることにうれしく思っています。



自然教室に行ってきました（1年生） 5月21日（金）～22日（土）

1日目の朝から雨が激しく降っていて「大池ウォッチング」の実施を心配しましたが、1時間ほどスタートを遅らせることで、なんとか実施することができました。生徒たちは班で協力し合って、小雨の中、頑張って校区を歩きました。

午後からは雨が止み、予定通り、バスで四日市市少年自然の家に移動。夜は「キャンドルファイヤー」を行いました。

2日目は「里山保全活動」です。自然の家の職員さんから、“里山”についてお話を聞き、その後はノコギリを腰につけ、常緑樹の伐採に挑戦しました。

コロナ禍において、1年生の先生たちが少年自然の家と相談しながら、感染防止対策を十分に練っての自然教室でした。6月23日～25日は3年生が修学旅行に行きますが、やはり、コロナ対策について十分な配慮を行って実施したいと考えています。



大池ウォッチング(浄蓮寺)



キャンドルファイヤー



里山保全活動

引き続き、以下の対応をお願いいたします。

- (1) 生徒に発熱等の風邪症状がある場合には、自宅で休養することを徹底する。
- (2) 同居の家族に発熱等の風邪症状が見られる場合は、登校を控えるようにする。
- (3) 生徒は寄り道せずに下校する。

お子さん及びご家族が検査を受けた(受ける予定)場合はご連絡ください。